

山中だより

山中 してもらう
キャッチ させられる人から
フレーズ する人へ

枚方市立山田中学校 学校通信 第17号

発行 令和元年10月25日 校長 交久瀬 善浩

◆◆ハローワークの方の講師による職業講話を実施しました。◆◆

10月の4日（金）1年生、15日（火）2年生、24日（木）3年生のそれぞれ学年で、ハローワークの方に講師としてご来校いただき、職業講話を実施しました。働くことについての考え方や心構え等を含め、職業に対する全般的なお話をさせていただきました。2年生は10月31日（木）と11月1日（金）の職場体験、3年生は今後の進路を考える上で、今回の講義を活かしてくれればと思います。



◆◆1年生で各種職業に従事されている方に直接話を聞く職業講話を実施しました◆◆

10月24日（木）に、1年生で職業講話を実施しました。今回の職業講話は、実際に現在それぞれの職種に従事されている方に講師として学校にお越しいただき、各職種における大切な心がけ、仕事上の楽しさややりがい、苦労等々についてお話いただきました。この取組みは10月2日からスタートし、生徒たちは学級の班ごとに6つの職種の中から聞きたい職種を選択しておいて、当日は班単位で教室を移動してお話を聞きました。各教室では司会から講師の方の誘導まですべて生徒によって行いました。このあとの取組みでは、それぞれの職種ごとに伺った話をまとめた新聞を作成し、職種ごとに別れていた班を通常の学級に戻し、学級にて職種ごとの班で発表し、全員が6つの職種についてお話を共有できるようにします。

なお、お話に来てくださった6つの職種の方の職場は以下のとおりです。

お話をいただきました各職場のみなさま、大変お忙しい中、本当にありがとうございました。

職 種	職 場	職 種	職 場
看護師・ジムトレーナー	西本クリニック・総合格闘技アングラー	消防・レスキュー	消防署
助産師	ゆずりは助産院	旅行業	JTB
食品関係・調理	万代	自動車販売	ネッツトヨタ大阪



◆◆考えてみよう◆◆

ネット上に雑誌「ダイヤモンド オンライン」の記事に、次のようなものが掲載されていました。生徒のみなさんにとっても身近なものだと思います。記事は、飲食店などを利用するお客さんとお店側の関係について書かれています。将来、アルバイトなども含めて飲食店などの職業に関係する人もかなりいると思います。自分のこととして読んでみて、どうしていけばよいか考えてみてください。

(ダイヤモンド オンライン 10月24日配信の記事より)

「日本人の「飲食店マナー」が崩壊の危機、・・・後略・・・」

年々、日本人のモラルは低下しており、飲食店では「お客様は神様」という言葉を勘違いした“モンスター客”のマナー違反が目立つようになってきているという。過去に飲食店経営の経験を持ち、現在は「NPO 法人 日本サービスマナー協会」認定マナー講師を務める上田由佳子氏に、そんな飲食業界側の本音を聞いた。(清談社 岡田光雄)

● 客と店員は対等の関係 マナーとは“暗黙の了解”

大原則として、客と店員は「対価を支払う代わりにサービスを受ける」という“対等”な関係だ。しかし、そこに考えが及ばない客のマナー違反が後を絶たない。では、そもそもマナーとはどういうものなのだろうか。

「本来マナーとは、思いやりを行動にあらわすもので、お互いにその場を気持ち良く過ごすための配慮。“暗黙の了解”ともいわれています。これは個人的な見解ですが、最近では周りの人が不快に感じているかどうかを、考える人が少なくなったのかもしれない」

それを象徴する事例として、今年7月、沖縄県・石垣島のラーメン店が、「日本人客お断り」という張り紙を掲げたことが話題になった。この店では、フライドポテトなどの飲食物を勝手に持ち込んだりする日本人客が後を絶たなかったという。

「前提として、店のルールがあるならそれを守るべきです。もし、店内への飲食物の持ち込みが明記されていない場合は店員さんに聞きましょう。お店側にしてみれば、店内によその食べ物を持ち込まれると、食中毒など衛生管理面のリスクが生じますし、お店の商品の注文機会も失われてしまいます」



(中略)



また、今年8月には、兵庫県西宮市の甲子園球場近くにある「大力食堂」という店で名物だった「超デカ盛りカツ丼」が、インスタ映え目的でやって来た客の食べ残しがひどく、販売停止になった。このカツ丼は、1966年の創業以来、「おなかをすかせた高校球児のために」と続けてきたメニューだった。

日本人自身もこうしたマナーの低下を感じているようで、ニフティニュースのアンケート(2016年)では、「昔よりマナーが悪い人が増えたと感じる?」という問いに、「とても感じる」「やや感じる」の合計が72%にもなった。(以上、上田由佳子氏)

(中略)



日本人客のマナー違反に対し、飲食店の現場からは悲鳴が上がっている。

「お客様でよくあるのが、お箸やつまようじの容器に手をつつこんで、自分が使う以外の分までガチャガチャ触る行為。あれは衛生上やめていただきたいですね。わざわざガチャガチャしなくても、きれいに自分の分だけ取ろうと思えばできるのではないのでしょうか」(そば屋店員、36歳)

「よく近所の大学に通う男子学生たちが、店に来ては度胸試しのつもりなのか、カレーの辛さをMAXにして頼むんですが、結局食べきれなくて残すんです。もったいないし、一生懸命料理を作った人に失礼。あの学生のノリが本当にキモいし、ムカつきます」(カレー屋店員、25歳女性)

あなたは読んでみて、どう感じましたか？気づかぬうちに自分も同じようなことをしたり同じような考えになっていないかどうか確認し、自分が客・店の双方の立場になったときどうすべきかしっかり考え、それができる実行力をつけていきましょう。